

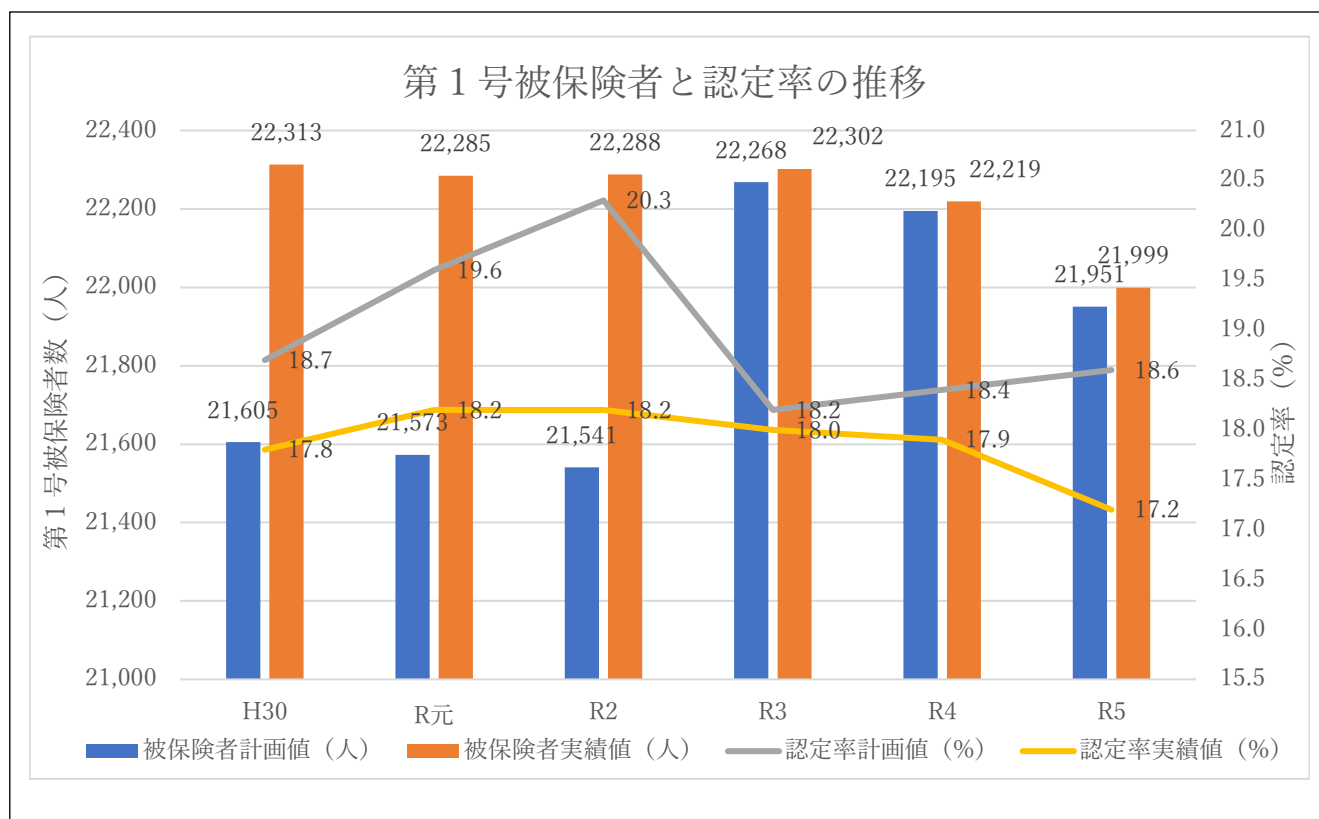
(1) 第8期介護保険事業計画の実行管理

総括

銚子市の総人口は年々減少しており、総人口に比例して第1号被保険者数(65歳以上)についても横ばいから少しずつ減少していくと見込み、第8期介護保険事業計画と比較して、ほぼ見込みどおり(3年累計対計画値100.2%)となった。対して、65歳未満人口の減少により総人口が減少(3年累計対計画値98.2%)し、令和5年の高齢化率は39.8%と計画値より0.8%高くなった。

認定者数は微増すると見込んでいたが実績では減少したため、認定率も計画値を下回り、令和5年は17.2%となった。これは、要介護認定の臨時的な取扱いとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年2月以降、面会が困難な場合に、更新申請について、介護認定の有効期間を12か月の範囲内で延長が可能となる臨時的な特例措置を適用し、認定期間を延長していたが、令和5年3月末で特例措置が廃止されたため、申請が大幅に増加し、認定までにかかなりの日数を要したことが要因と考えられる。

なお、要支援及び要介護の平均介護度は、累計で見るとほぼ計画値どおりである。



認定者数が計画値を下回ったことにより、総給付費も計画を下回る結果となった。

認定者数と連動し、給付費も微増すると見込んでいたが、施設サービスの給付費は対計画値で97.8%（3年累計）となり、居住系サービスの給付費は対計画値94.3%（3年累計）、在宅サービスの給付費が対計画値で97.2%（3年累計）と各サービスとも計画値を下回り、総給付費として97.2%（3年累計）の利用となった。給付費はどのサービス区分においても増加傾向で見込んだが、総額55億5千万円前後で推移している。

サービスごとの特徴

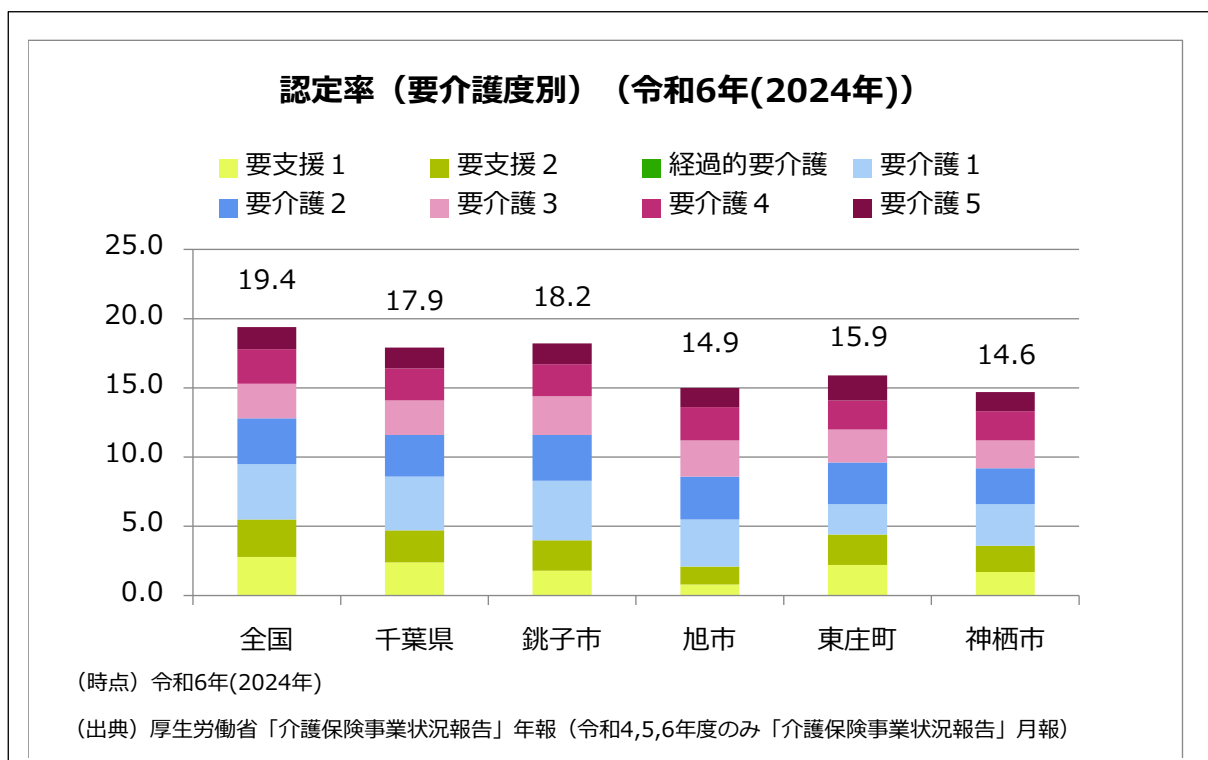
- 施設サービスのうち介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の利用者数が対計画値95.2%（3年累計）となり、一定数の待機者がいるなか減少している。
- 在宅サービスのうち、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導などが、計画値を上回っている。介護資源が充実して対応できる事業所が増加したことが一つの要因と考える。
- 新型コロナウイルス感染対策では、介護サービス事業所が継続してサービスを提供できるよう努めていたが、新型コロナウイルスの影響による外出自粛から利用控えがあった期間があると考ええる。
- 基盤整備に努めた地域密着型サービスは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が令和4年8月に開設されたことで、利用者数が対計画値665.5%（3年累計）延べ559人の利用となった。認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び小規模多機能型居宅介護は、令和5年度に公募を行ったが参入する事業者がなく、利用者数が見込みを下回った。

(2) 銚子市の現状分析(近隣との比較)

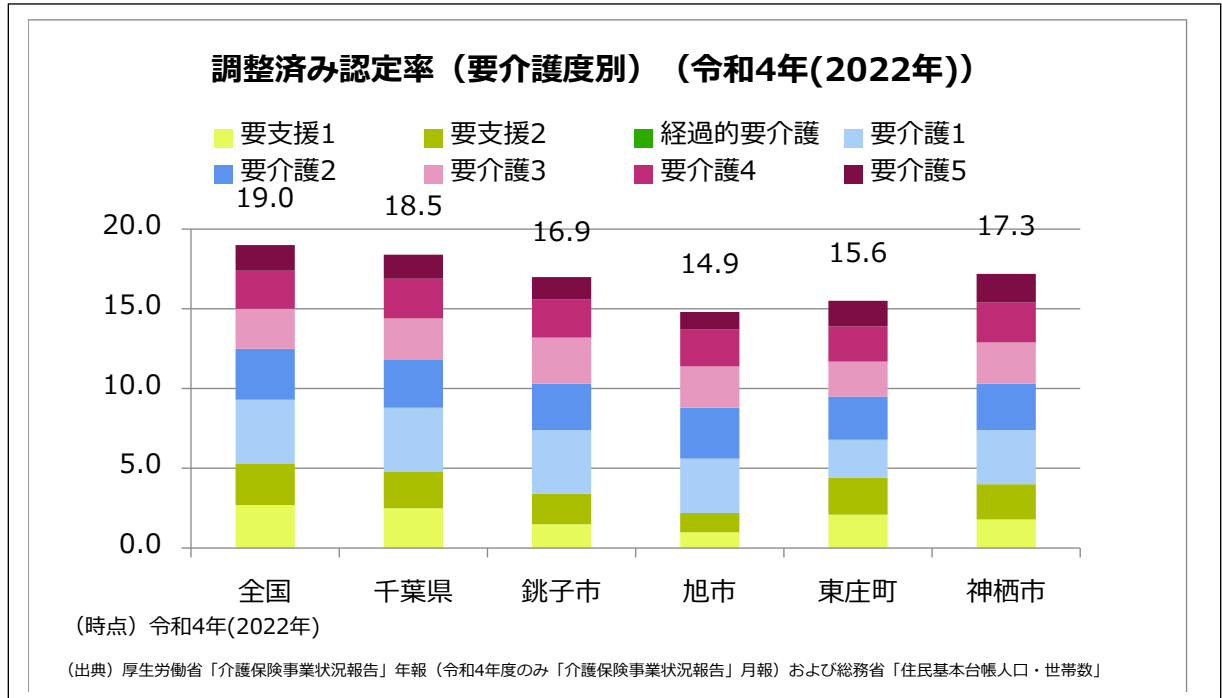
1. 認定率

認定率は微増傾向と見込んでいたが、実績は、令和3年18.0%・令和4年17.9%・令和5年は17.2%と推移した。

令和6年(直近)銚子市の認定率は18.2%で、全国平均(19.4%)と比較すると低い、千葉県平均(17.9%)や近隣市町と比較すると高い認定率である。第9期計画において、第1号被保険者数は減少傾向としたが、認定者数は横ばいを見込んでおり、認定率が上昇することが予想される。



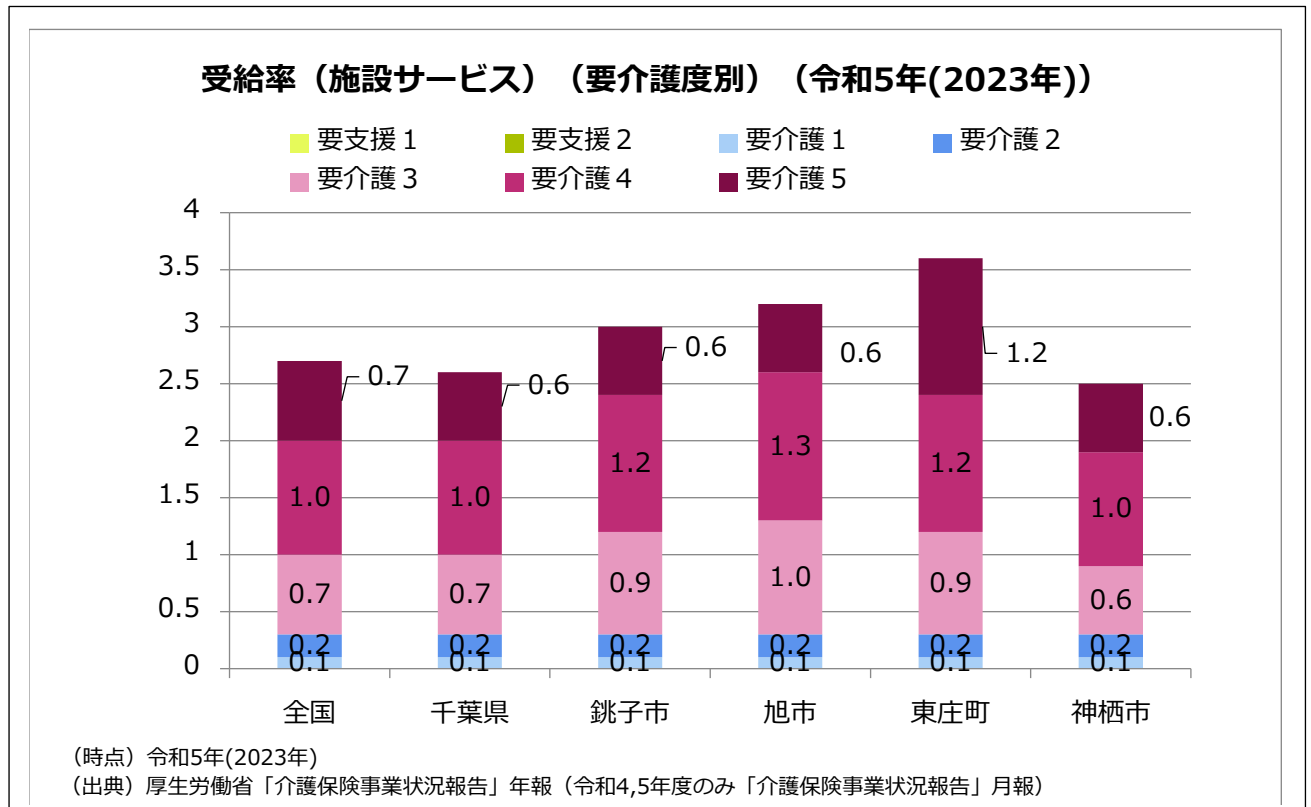
なお、調整済み認定率(性・年齢調整を行い、同じ人口構成と仮定して算定される。令和4年数値。)において比較してみると、銚子市は後期高齢者人口が多いことから、調整済み認定率は16.9%となり、全国や千葉県平均よりも低くなるが、旭市(14.9%)や東庄町(15.6%)と比較すると高い数値であり、引き続き、介護予防・重度化防止の取組を推進し、認定率の上昇を抑制することが重要と考える。



2. 受給率(利用者数／第1号被保険者数)について (施設サービス)

銚子市の施設サービス受給率は3.0％であり、全国平均(2.7％)や千葉県平均(2.6％)よりも高いが、近隣市町は3.2％から3.6％となっており、香取海匠地区は施設受給率が高いことが伺える。これは、第9期介護保険事業計画策定時においても示したが、高齢者人口の増加に対応した近隣市における特別養護老人ホームの増床が見込まれるため、利用者が多くなることが予想される。

銚子市においては、今後の人口減少を見込んで特別養護老人ホームの整備は予定していないが、住所地特例対象者として市外の施設を利用する者は増加しているため、受給率及び給付費は上昇する予想である。

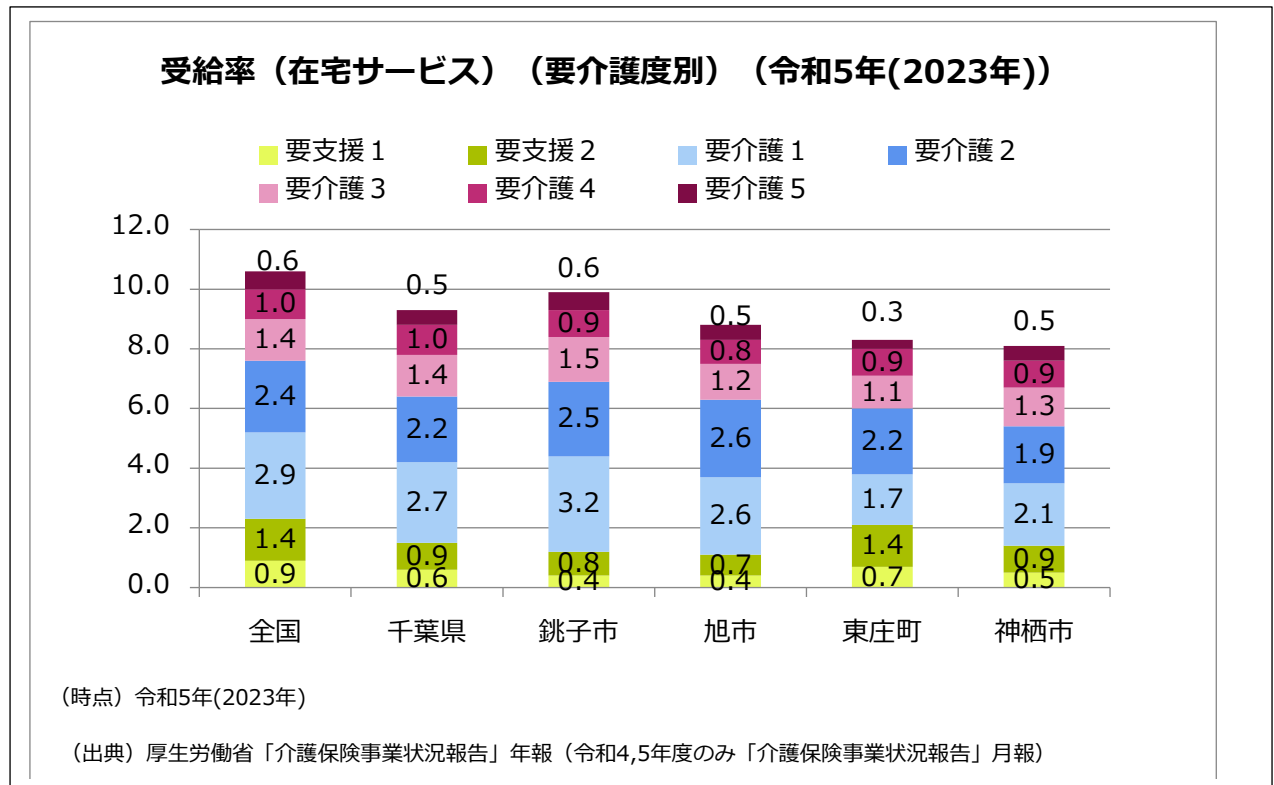


※介護度別グラフの積み上げとリード文内で用いた数値は、端数処理の関係で突合していない。

(在宅サービス)

一方、在宅サービスの受給率は銚子市が9.9%、全国平均(10.6%)を下回るが、千葉県平均(9.3%)や近隣市町(旭市 8.8%、東庄町 8.3%)よりも高い受給率である。

近隣市町と比較すると、施設受給率が0.6%低い分、在宅サービス受給率が高くなっており、在宅利用者が多いことが伺える。在宅での生活をできるだけ継続できるようにするため、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を目指し、在宅サービス必要量の確保、質の向上に引き続き努める必要がある。



※介護度別グラフの積み上げとリード文内で用いた数値は、端数処理の関係で突合していない。